

硫化水素 (可燃性・毒性ガス 無色・特異臭(腐卵臭))

分子式	H ₂ S	分子量	34.1	容器の色	ねずみ色
用途	金属の分離精製用、蛍光体の製造用、医薬品、工業薬品の原料用、試薬用、触媒の再生用、皮革なめし、脱毛用、繊維処理剤				
該当法規	高圧ガス保安法、労働安全衛生法、大気汚染防止法、悪臭防止法、船舶安全法、航空法、港則法				
物理的性質	<p>可燃性・毒性の無色・特異臭(腐卵臭)のガス</p> <p>比重：1.2</p> <p>沸点：-60.3</p> <p>爆発範囲：4～44%</p> <p>着火温度：260</p> <p>許容濃度：10ppm</p>				
化学的性質	<p>空气中で青色の炎をあげて燃焼し、亜硫酸ガスを生成する。また400で分解しはじめ1700では完全に成分元素に分解する。</p> <p>銅及び銅合金は腐食される。</p> <p>水分を含む硫化水素は炭素鋼を腐食さす。(水溶液は酸性を示す。)またゴムを急速に劣化させる。</p> <p>除害剤として、苛性ソーダ水溶液、炭酸ソーダ水溶液が用いられる。</p>				
注意事項	<p>低濃度でも眼や呼吸器の粘膜を刺激し、激しい痛みを与える。濃度が高くなると頭痛、呼吸困難、筋肉衰弱、体温の異常低下、低血圧症、けいれんなどを伴い、さらに高濃度では意識不明となる。</p> <p>空気との接触により爆発性混合ガスをつくり爆発しやすい。また、火災の際、猛毒の亜硫酸ガスが発生する。</p> <p>酸化剤、ハロゲン、金属酸化物等と接触や混合で激しい反応や危険な反応を起こす</p> <p>充てん容器は、40以下になるよう、直射日光を避け、通風の良いところで、転倒、破損が起こらないよう保管する。</p>				

硫化水素 (可燃性・毒性ガス 無色・特異臭(腐卵臭))

事故時の措置

消火方法	大量の水、炭酸ガス、 粉末消火器	処理剤	消石灰、炭酸ソーダ、 苛性ソーダ
漏えいした とき	<p>バルブを閉めるなど、漏えいを止める。 容器から液体状態のガスが漏えいすると、急激に蒸発し、汚染地帯を拡大するため容器を立てて処理する等、液状の漏えいを回避する処置をとる。 漏えいを発見したら、先ず部外者を安全な場所に避難させ、汚染空気を除害装置と連結した排気設備を用いて廃棄する。 散水や水噴霧等により拡散させ、着火・爆発を防止する処置を取る。 水噴霧等で発生した排水は、河川等に流れないように無害化処理する。</p> <p>119番(消防署)に通報する。</p>		
火災のとき ・ 周辺での 火災のとき	<p>火災を発見したら先ず部外者を安全な場所へ避難させる。 容器の移動が可能であれば、速やかに安全な場所へ移動させる。 容器の移動ができない場合は、散水により容器及び周辺を冷却する。 有毒なので、また燃焼時に有毒ガスの亜硫酸ガス等が発生するので、空気呼吸器を着用の上、風上より出来るだけ遠くから消火作業を行う。</p>		
救急処置	<p>蒸気を吸入した場合は、速やかに新鮮な空気のある場所に移し、安静、保温に努め、急いで医師の手当を受ける。 皮膚に付着した場合、汚染された衣服や靴を直ちに脱がせ被爆部を多量の清浄な水で洗浄する。 少なくとも15分以上清浄な流水での洗浄を行い、完全に洗い流す。 呼吸困難・呼吸停止を起こしている場合には、酸素吸入や人工呼吸を施す。</p>		
特記事項 (人体に対する影響)	<p>神経系障害、循環器系障害や肺炎などの重篤な後遺症が残ることがある。</p>		
緊急通報例 119(消防署)	<p>1 どこで 市 町 番地 (株) 工場で</p> <p>2 なにが 「可燃性・毒性の硫化水素ガス」が</p> <p>3 どうした 「漏れています。(漏れて火災になっています。)」</p> <p> 「消防車出動をお願いします。」</p> <p>4 時間は 時 分 頃 です。</p> <p>5 けが人は 「けが人がいます。救急車出動をお願いします。」</p> <p>6 私の名前は 工場 課の です。</p>		